

●長時間労働になる原因を検証しましょう。

- 顧客の都合に合わせている
- 業務に繁閑の差がある
- 一人一人の仕事量が増加している
- 付き合い残業が習慣化している
- 上司よりも先に**帰りにくい**
- みんなが残業しているから**帰りにくい**
- 残業しないことを低く評価されるのを恐れ、**残業が習慣化**している（社員側）
- 残業する者を高く評価し、残業しない者を低く評価する（上司側）
- 仕事をキッチリやり遂げたい（⇔ 自己満足、ひとりよがり）
- 特定の社員にしかできない業務**があって、仕事が集中している（⇔ 抱え込み）
- 残業を前提とした業務体制**になっている
- 残業手当が生活費の一部**になっているため**残業が習慣化**している
- 残業の判断が社員任せ**となっているので、不要不急の残業が行われる
- 私用の都合などの理由で時間調整（暇つぶし）のために滞留している

**現状
把握**

●時短に向けた取組事例 ★ **今できることをやる！**

1. 終業時間目標と早帰り日を設定すると共に、営業拠点の入力作業による残業時間削減のため入力端末の稼働を **17時に一斉にシャットダウン**。
2. **残業をする場合は15時までに管理職に申請書を提出**し管理職が必要性を検討した上で承認または却下。残業は遅くとも19時までとし、毎日19時前完全退社を徹底。
3. 管理職が自らの部署における業務の棚卸しとして「**仕事しらべ**」を**徹底的に実施**。全ての階層のスタッフの業務内容や業務のコツなどを**マニュアル化**し、担当スタッフの不在時にも**誰もが代行可能**。
4. 「**一人三役**」制度により各担当者は業務の合間、あるいは配置換え等の機会に、自分の担当外の業務を三役程度習得しておくことで、担当者の不在時や業務繁忙期に自分の**担当外の業務も担当可能**。
5. **従業員を多能職化**するため、全ての業務内容について**業務マニュアル**を作成。新入社員は入社後3ヵ月かけて全ての業務を習得。
6. 内勤職員と上司（管理職）の評価項目にワーク・ライフ・バランスの取組の進捗度合いを反映することで、ワーク・ライフ・バランスの取組を自分ごととして捉えると共に会社全体に浸透・定着させるなど取組を「**仕組み化**」。
7. **全従業員が生産効率改善、残業削減等**に関する前期の反省、今期の課題、方針、スケジュール等を作成して従業員の前で発表すると共に掲示板に掲示。
8. **時間当たりの生産性を把握**するため、「**仕事量/時間**」を 全社・部門/室単位で把握。長時間労働削減施策の社内表彰の際には数値も考慮。
9. 全従業員の**スケジュールを共有**するシステムを導入。**毎月1回のノー残業デー**を「家族の日」として、自分の予定に合わせて設定。全従業員の業務の状況、公私のスケジュール等を共有・管理するグループウェアを自社開発し、運用。
10. **従業員の家族の誕生日、子供の入学式、卒業式、運動会、授業参観日等は全て出席するよう年間予定を組む**。



●歩合給と残業代

【質問 1】 歩合給に対して残業代を支払う必要はありますか？

【答】 歩合給に対しても残業代などの割増賃金は発生します。

【質問 2】 歩合給に対する残業代の計算方法を教えてください。

【答】 月間60万円の売上に対して、歩合率50%を歩合給として支払うとします。
歩合給は60万円×50%=30万円となります。

●歩合給の割増賃金＝歩合給÷総労働時間＝時間単価
時間単価×25%（注意：125%ではない）×残業時間

●残業時間が20時間の場合の歩合給に対する残業代の計算
30万円÷（173時間（月の所定時間）＋20時間）＝@1,554円
@1,554円×25%×20時間（残業時間）＝残業代 7,770円となります。

【質問 3】 歩合給の中に残業代を含んで支払っているという主張は通りますか？

【答】 主張となる証拠が必要です。

歩合給の中に残業代が含まれていることを有効にするには、以下のことを規定してください。

1. 賃金規程や労働契約書などに、歩合給の一部に一定時間分の残業代が含まれていることを明確に規定をすること。
2. 通常の歩合給と残業部分の歩合給が明確に分けていること。

【まとめ】

歩合給の中に残業代を含んで支払っている企業は多いですね。
監督署の調査の時に、監督官から適法と認められる書式、規定を整備している企業は少ないです。

「画竜点睛」物事を完成するための大事な最後の仕上げです！
適法とするために書式を整備しておきましょう！

関東Office
高崎市常盤町133番地
Tel.027-330-5557

東海Office
駿東郡清水町新宿214-22
Tel.055-981-1166

北陸Office
富山県富山市栃谷440-5
Tel.076-471-8263